

	福島県		県中地域				岩瀬地区				石川地区				田村地区			
	第13週	第12週	第13週		第12週		第13週		第12週		第13週		第12週		第13週		第12週	
	感染症動向	感染症動向	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報	感染症動向	学校欠席者情報
インフルエンザ	985	1365	191	10	173	173	101	9	86	70	2	1	1	8	88	0	86	95
咽頭結膜熱	12	13	2	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	1	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	89	95	8	0	6	0	7	0	1	0	0	0	0	0	1	0	5	0
感染性胃腸炎	153	161	24	1	30	6	18	0	16	3	0	0	0	1	6	1	14	2
水痘	16	15	1	1	1	1	1	0	0	0	0	1	0	1	0	0	1	0
手足口病	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	4	5	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1	0
突発性発疹	26	29	5	0	8	0	2	0	4	0	0	0	0	0	3	0	4	0
百日咳	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	6	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
RSウイルス感染症	8	5	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0
急性出血性結膜炎	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0
流行性角結膜炎	4	5	0	0	0	0	0	0	0	0	/	0	/	0	/	0	/	0

【感染症発生動向調査】 ※定点医療機関からの情報をもとに集計 【学校欠席者情報】 ※保育園、幼稚園、小中学校、高等学校の欠席者情報です。

県中地区の状況

<インフルエンザが流行しています。>

県中地域でインフルエンザの患者数が増加しています。流行の主はA型インフルエンザですが、B型インフルエンザの報告も増えていきます。B型は風邪の症状と似ているために本人が気づかず、周囲に感染をあげてしまう可能性があります。インフルエンザの予防には、石けんと流水による手洗いが重要です。こまめな手洗いを心掛けましょう。また、人混み等への外出を避け、咳がでている場合にはマスクを着用するようにしましょう。乾燥しやすい室内では加湿器等を使って適切な湿度(50~60%)を保つことも効果的です。咳や発熱等の症状がある場合には、早めに医療機関を受診し、早期発見・早期治療に努めて下さい。

《トピックス》【麻しん】

麻しんは感染力がきわめて強く、空気感染もするので、手洗い、マスクのみでは十分な予防ができません。特効薬はなく、重症化し、肺炎や脳炎を起こすこともあるため、あらかじめ予防接種を受けることが大切です。症状(発熱や咳、鼻水、涙がたくさんでる、目が充血する、発しんなど)があり、感染が疑われる場合は事前に医療機関へ電話で連絡し、医療機関の指示に従い受診して下さい。麻しんの潜伏期間は10~12日ですので、その期間に海外や人が多く集まる場所に行っていた場合には特に注意が必要です。また、麻しん患者と接触がある場合にも医療機関に従い、すぐに受診してください。

定期接種の対象者は  
今すぐに麻疹風疹ワクチンを!!



・麻しんについて(厚生労働省HP)  
http://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou\_iryoku/kenkou/kekaku-kansenshou/measles/index.html  
・予防接種啓発ポスター(NIID国立感染症研究所)  
http://www.niid.go.jp/niid/ja/diseases/ma/measles/221-infectious-diseases/disease-based/ma/measles/590-cpn08.html

引用:NIID国立感染症研究所HP

対象者 第1期 1歳児  
第2期 5~7歳未満で小学校就学前の1年間(就学前年度4/1~3/31)の者

接種方法 麻疹および風疹の予防接種は以下の方法による2回接種



\*同じ「期」内で麻疹ワクチンまたは風疹ワクチンのいずれか一方を受けたお子様あるいは麻疹ワクチンと風疹ワクチンをそれぞれ別々に接種することを希望するお子様。